

令和4年度

学校自己評価のまとめ

千曲市立戸倉上山田中学校

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケート(内部評価)と保護者アンケート(外部評価)をもとにまとめました。まとめをご覧の上、来年度も本校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザインに示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表し共有して『よりよい学校づくり』のために行うものです。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていかうとする意識や態度をもつことができます。

本年度の教育課題と重点

生徒、先生、保護者・地域が互いに対話し、学び合い、高め合う学校 共に学ぶことが楽しい、明日も来なくなる学校づくりを進めます

魂 充実した学校生活

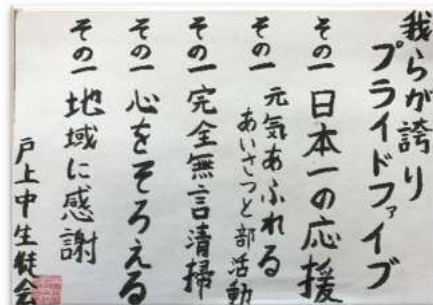
⇒ 「プライドファイブ」を生徒会とともに徹底し、安心・安全・信頼の学校生活を構築します

智 確かな学力

⇒ 生徒が学ぶ学習環境づくりをし、「基礎的な知識・技能」、「思考・判断・表現力」、「主体的に問題解決していく力・人間力」を育みます

和 よりよい人間関係

⇒ 対話、連携を大切にして『多様性を認め合う人間関係』をつくり、生徒・先生・保護者・地域で学校づくりを進めます



II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 生徒の授業生活評価・教師の授業診断

全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。また、教師の自己診断も実施し分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、12月の保護者懇談会で回収しました。回収率は約63%(昨年度約61%)でした。

(3) 教職員による自己評価

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について、年度末に向けて自己評価を行いました。

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートの選択肢を【ア:十分 イ:だいたい ウ:あまり エ:全く オ:分からない】の5段階にしました(生徒、教職員アンケートは、「分からない」を抜かした4段階)。

昨年度と比較するために、ア・イを肯定的ととらえて、全体に占めるア・イの割合を肯定率(%)としてグラフ化しました。

Ⅲ 結果と考察

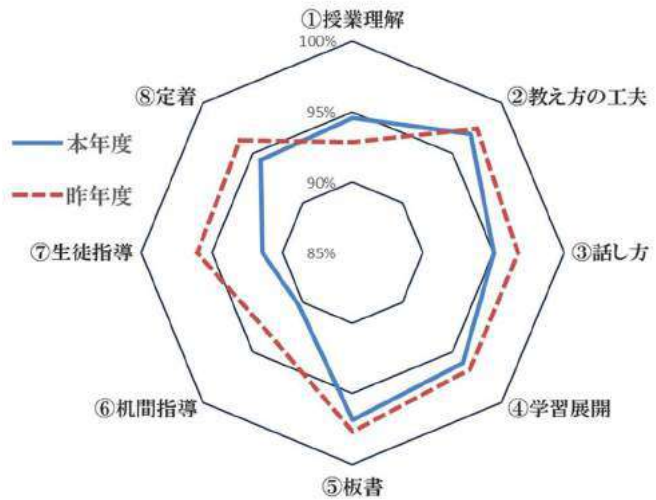
1 「確かな学力」について

A 授業について

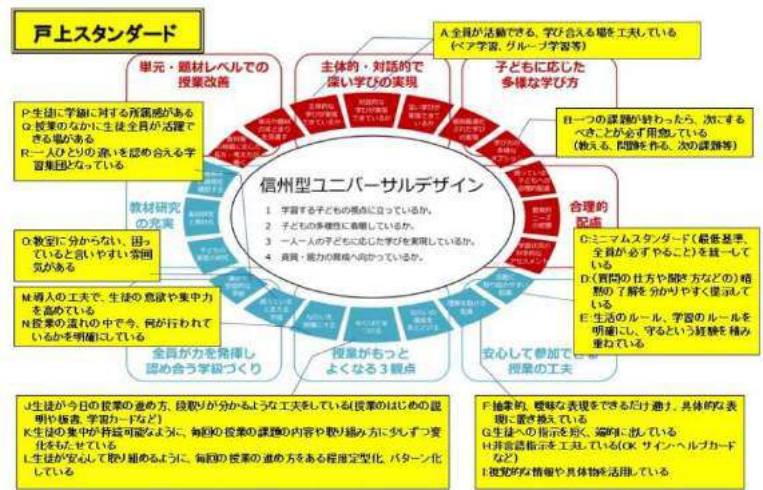
(1) 内部評価(生徒)

生徒を対象として授業に対するアンケートをとりました。内容は、①授業のわかりやすさ②教材の工夫 ③授業中の話し方 ④学習展開の工夫 ⑤板書 ⑥机間個別指導 ⑦生徒指導 ⑧基礎力定着 について、生徒がそれぞれの立場から日常の授業評価をしました。

R4 生徒による授業評価

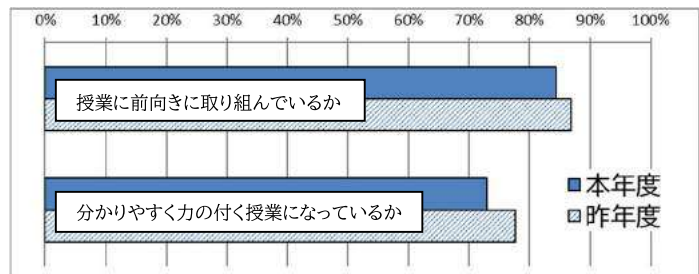


昨年度と同様に、全ての項目での肯定率が 90%を超えました。特に「①授業の内容がよくわかり理解できるようになっている」という項目について昨年より向上してきています。これは、クロームブックの活用や学びの形態の工夫等、昨年に引き続き授業改善の視点として取り組んできた、授業のユニバーサルデザイン化(戸上スタンダード)の成果とも考えられます。また今年度も、4月に3年生に実施された全国学力・学習状況調査では、国語・数学・理科の全てで長野県と全国の平均点をやや上回る結果を得ることができました。一方で「⑥先生たちは、座席をまわってわかりやすく教えてくれる」「⑦先生たちは、授業中に勝手なことをしたり授業のじやまをしたりしている人を注意してくれる」の肯定的な回答が4ポイント近く減少しました。我々教職員が、誰もが落ち着いて学習に取り組むことができる環境づくりや一人一人を丁寧に見て指導していくこと、教師の声掛けを待っている生徒たちがいることを意識して、授業に取り組んでいきます。



(2) 外部評価(保護者)

保護者の皆様からは、『授業に前向きに取り組んでいるか』について 84%(昨年度 86%)の方に、『力のつく授業になっているか』について 73%(昨年度 77%)の方に肯定的に見て頂いています。しかし、どちらの項目についても昨年度よりも減少しています。生徒・保護者の皆様の意見に耳を傾け、学習形態や教材を工夫し、学習の環境を整え、生徒たちに「楽しく確かな学力」が定着するような授業を目指します。



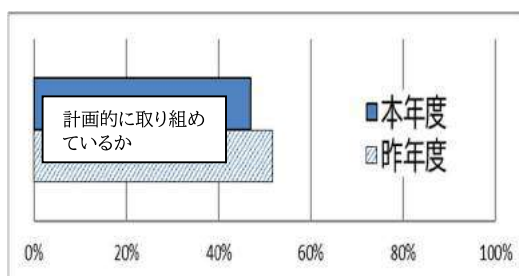
(3) 外部評価(コミュニティ・スクール チームつばさ運営委員会)

チームつばさ運営委員会では、日頃の学習についてご意見をいただきました。地域で生徒たちの学習支援を行っている方からは、「先生方の指導は、細かいところまで手を入れて丁寧に指導している。数学のプリントでは、基礎から応用までの様々な問題があり、よく工夫されている。生徒にやる気を起こさせようとしている意図が伺える。先生方のチームワークのよさが学習指導に生かされていると感じている。」というご意見をいただきました。今後も、教材研究を丁寧に行い、生徒のニーズや興味関心に応えられるような教材や授業の工夫をしていきます。

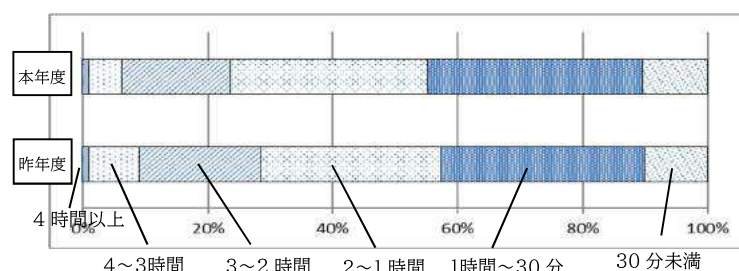
B 家庭学習について

今年度から一日1ページ等の作業的になりがちな宿題を極力なくし、帰宅後の学習計画を自分で立て、その学習に取り組むという自主学習を進めてきました。しかしながら、お子さんの家庭学習について、『計画的に取り組んでいる』としている保護者の皆様は、昨年度の 52%から47%に減少してしまいました。「やらされる」から「自ら取り組む」への変化に向けて、自分の学習をマネジメントできる力を育てることを目的に始めた取り組みでしたが、まだ改善の余地があります。家庭学習の充実・自学自習の取り組みを目的とした「つばさタイム」「水曜 SP」を含めて指導を見直し、家庭で「何をどのように学習すればよいのか」計画を立て実行できるような手立てと家庭との連携策を引き続き考えていきます。また、生徒の主体的に学ぶ態度や家庭学習につながる授業を進めていきます。

<家庭学習の取り組み>



<家庭学習時間>



2 「充実した学校生活」「よりよい人間関係」について

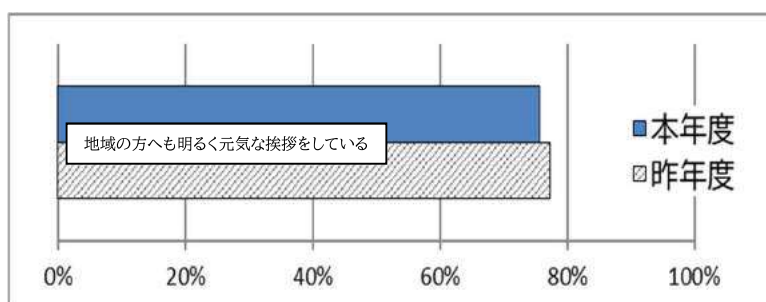
A 明るく元気な挨拶について

(1) 内部評価(生徒)

【学校に来るのが楽しい】【地域の方・先生方・友達・家族にすすんで気持ちのよいあいさつができた】など14項目について、前期、後期の二回アンケートを行い、生徒の様子や状況を把握するよう努めています。その中で『気持ちのよいあいさつ』ができたとした生徒は94%で、生徒たちのあいさつに対する意識の高さが伺えます。生徒会を中心に、生活委員による当番活動や特別活動など、生徒の意識を高めた成果だと考えています。

(2) 外部評価(保護者)

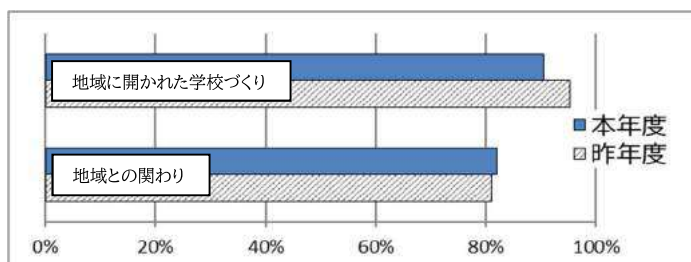
保護者の皆様からも、「学校を訪問した時に大きな声であいさつをしてくれる」「元気な挨拶をしてくれる生徒がたくさんいてくれて嬉しい」というご意見がある一方で、「校内でできていても、外だとできていないように感じます」というご指摘もあります。プライド5にも掲げられ、生徒会活動でも常に大切に考えられているのが挨拶です。地域の方へ感謝を表す行動の一つとして、挨拶の向上を目指していきます。



B 学校からの情報発信、地域との関わりについて

(1) 外部評価(保護者)

地域に開かれた学校づくりに関しては90%、地域との関わりについては82%の肯定的な評価となりました。コロナ渦で思うような取り組みができない3年間でした。しかし、状況も変わりつつあり、来年度以降さらに地域との関わりを深め、各種通信やホームページ等での学校の取組や生徒の様子を発信し、地域に開かれた学校づくりを目指していきます。



IV 保護者の皆様から

アンケートの中で、保護者の皆様から貴重なご意見や励ましの言葉をいただき、全職員で確認いたしました。保護者の皆様の貴重なご意見を大切に受け止め、これからの教育活動や学校運営に生かしていきたいと思っております。以下にその一部を紹介します。

1 学びづくりについて

- 自主学習が軌道に乗るまで、家庭学習(宿題)をもう少し出してほしいです。
- 「主体的に問題を解決していく力」を育む一環として、学習面での PDCA サイクルを行う力をつけて欲しいです。

学習については、今年度の反省を踏まえて、①自分の学習をマネジメントできる力の育成②(自主)学習で取り組む内容についてを指導の視点として、来年度取り組んでいきます。また、学習カードやクロームブックを活用し、自分の学習の様子について振り返り、次の授業に学びを生かしていく取り組みも考えていきます。

2 生活づくりについて

- 学校に行った時に気持ちのよいあいさつをしてくれる生徒達がいいます。思春期で難しい時期だと思うのですが、感心しています。
- 新校舎になったばかりで数年しかたっていないのに、校舎内のトイレが汚くて非常に残念です。トイレをきれいにし、心もピカピカにしてほしいと思います。

おかげさまで生徒たちは落ち着いた学校生活を送っています。生徒会を中心に、新しいこの校舎を大切にする気持ちを更に育むとともに、気持ちのよい元気なあいさつの響く学校であり続けられるよう取り組んでいきます。

3 プライドファイブについて

- いつ行っても下駄箱の靴のかかどがそろっており、気持ちよいです。生徒一人一人の意識だと思います。
- 中学生はまだまだ「自分の為」や「他の人に何かをやってもらう」生き方しか出来ていないので、「誰かの為に行動することで感謝される」経験をして、「地域から必要とされる実感」ができるといいと思います。
- 今年の壮行会もオンラインで観ることが出来ました。生徒たちの応援歌、何度聞いてもその迫力に圧倒され、こちらまで元気が湧いてきます。

プライドファイブは生徒会が掲げ、生徒たちの学校生活の誇りとなっている活動です。地域と関わる活動については、生徒会活動や総合的な学習の時間を通して、取り組んでいきます。また、内容については、少しずつ見直しと改善を行いながら、生徒と共に取り組んでいきます。

5 その他

- 今年度はポロシャツが導入されましたが、制服の変更、カバン、ヘルメットの縁取り、整列等含めた区別等、学校も考え直していく時だと思います。
- 下校時の並列走行よく見かけます。ちょっと危ないなと感じました。
- マスクの着用はそろそろ個人の判断にまかせて頂きたいです。給食中の会話も必要かと思っております。

・本年度ポロシャツを導入し、多くの生徒が着用していました。制服等についても少しずつ検討を始めていますが、ジェンダーフリーの観点から、いろいろな立場の考えを聞き合うことを大切にして見直していきます。

・自転車の乗り方については、状況に応じてその都度、放送や全校集会で指導をしています。生徒たちが、安全にマナーを守って登下校できるように今後も引き続き指導してまいります。危険な状況を見つけた際は、学校までご連絡ください。また、各ご家庭でも、ぜひご協力ください。(注意をお願いします)

・マスクの着用については、文部科学省から方針が出されています。その方針をうけ、千曲市教育委員会とも協議しながら、検討してまいります。方針については、学校より通知にて各ご家庭にお知らせする予定です。